

甲状腺刺激ホルモン(TSH)		1005500		
TSH		担当部署		
検査オーダー		生化		
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→		
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		特記事項なし		
検査受付時間		8 : 15～16 : 00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		負荷試験時や日内変動採血指示などの指示がある場合、指示通り		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8 mL
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告				
検査室の所在地		病院棟 3階 中央検査部		
測定時間		当日中～翌日		

生物学的基準範囲		0.61～4.23 μ IU/mL エクルーシス試薬 TSH 試薬添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	μ IU/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
0.61	4.23	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>甲状腺刺激ホルモン(TSH)はαとβの二つのサブユニットからなる分子量28.3kDaの糖蛋白である。視床下部ホルモンであるTRHの分泌により刺激され、甲状腺ホルモンにより抑制を受ける。</p> <p>TSHは甲状腺濾胞上皮細胞のレセプターに結合して、サイクリックAMPを介して甲状腺におけるヨード摂取、甲状腺ホルモンの分泌などを促進する働きをもつ。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第4版 224</p> <p>なお、2020/12/1より本項目における結果値は国際調和化対応となる。</p>				